

那覇市委託事業 地域精神保健福祉教室（こころの健康講演会）

～精神障がいのある方の暮らしを考える～



『オキナワへいこう』

沖縄旅行を軸に「精神科病棟の長期入院」の現実をユーモラスに描いたドキュメンタリー映画
大阪の精神科病院に長期入院する患者が「沖縄旅行に行きたい」という夢を実現するために、
病院のスタッフや支援者たちと一緒に主治医の説得を試みます。沖縄旅行をきっかけに退院する
患者、沖縄旅行が叶わず入院し続ける患者・・・。

映画上映と出演者によるミニ講演

日時：令和元年11月9日(土) 13時30分～16時30分

会場：那覇市保健所 3階 大会議室（那覇市与儀 1-3-26）

募集人数 50名 募集対象 那覇市在住、在勤、在学の方

内容

① 13時30分～15時00分

映画上映「オキナワへいこう」（監督 大西暢夫）

② 15時15分～16時30分

ミニ講演会「精神障がいのある方の暮らしを考える」

講師：小川貞子氏（NPO 法人 kokoima 理事長／元浅香山病院看護部長）

申込方法

電話または来所にてお申し込みください。

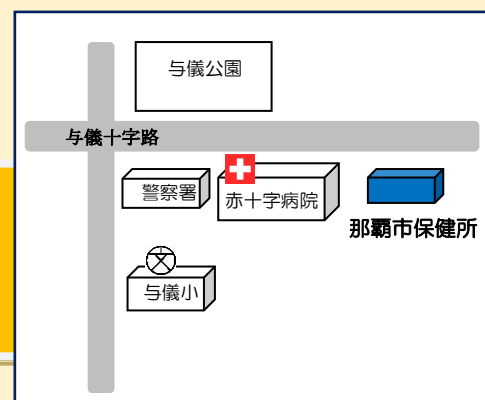
申込締切

令和元年11月8日（金）

駐車場は数に限りがございます。公共交通機関をご利用いただくか、
近隣の有料駐車場をご利用ください。

入場無料

問合せ・申込先 那覇市地域生活支援センターなんくる
那覇市長田1丁目24番27号
TEL: 098-836-6970



地域精神保健福祉教室「こころの健康講演会」とは

沖縄県では県民142万人のうち、4万3千8百人が精神科や心療内科に通院や入院しています。つまり、32人に1人がこころの病で治療を受けている計算になります。これほどポピュラーな病気ですが、詳しく知られていません。

那覇市では、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指し、市民に精神保健福祉について正しい知識をもってもらうことを目的に「こころの健康講演会」を毎年開催しています。

ミニ講演会「精神障がいのある方の暮らしを考える」

小川 貞子氏（おがわ さだこ）

NPO法人kokoma理事長／元浅香山病院看護部長

1954年生まれ。愛知県瀬戸市に育つ。

大阪府にある浅香病院精神科で看護師として働く。

2012年から長期入院の人たちと共同で「ここ今ニティー写真展」を3年間取り組む。

現在は大阪府堺市堺区香ヶ丘町にてNPO法人kokomaの理事長として活動している。



那覇市地域生活支援センターなんくる

那覇市地域生活支援センターなんくるでは、障がいをお持ちの方の交流活動や日常生活上の相談を行っています。ひとりひとりの目標に合わせて利用することができる「居場所」を提供しています。

ドキュメンタリー映画を通して、精神障がいのある方の暮らしについて考えてみませんか。

病院の存在は大切です。そして、私たちが暮らすありふれた街「地域」もこころの病を抱える人々には病気を治すくらいすごい力があります。長期にわたる入院により、「地域」で暮らすことを当たり前を選択できなくなっている人々がいます。暮らす場を考える時、選択肢のひとつに「地域」が提案されていないのはなぜでしょうか。

こころの病を抱える人は特別な存在なのでしょうか。

参加者の皆さんがご自身の生活を振り返りながら、感じて、考える時間にさせていただきたいと願っております。

問合せ・申込先 那覇市地域生活支援センターなんくる
那覇市長田1丁目24番27号
TEL: 098-836-6970

